

新規就農促進フォーラム

農業を職業の選択肢のひとつにしませんか

農業女子が
やってくる!

とき

平成27年

2月26日(木)

13:30~17:30

ところ

仙台合同庁舎 8階講堂

(仙台市青葉区本町3-3-1)

参加費無料 定員100名

裏面の申込書に記載のうえ、FAX
等でお申込み下さい。

申込期限:2月20日まで

1 取組事例発表(13:35~16:15)



いしおか しおり

石岡 紫織 氏(青森県弘前市)

パイロットを夢みて航空自衛隊に入隊したが、父親が急逝したため帰郷し就農。
味を重視した「葉取らず」りんごを生産。
農林水産省・農業女子プロジェクトメンバー。



いとう

伊藤 さくら 氏(秋田県五城目町)

秋田県内で会社勤務後、実家に就農し、町の特産品「キイチゴ」と多品目野菜を栽培。
将来は、生産・加工・流通販売の展開に意欲。



たむら まりこ

田村 真理子 氏(岩手県八幡平市)

秋田県内の生花店に勤務後、実家に就農し、減農薬・減化学肥料での野菜を栽培。
女性がもっと積極的に楽しんで農業ができる環境づくりに意欲。



たなか としあき

田中 俊昭 氏(山形県飯豊町)

農協関係の出版会社に勤務後、1年間の研修を経て、花卉栽培で独立自营就農。
新規就農者同士の繋がりを強化する「新規就農者ネットワーク山形」を立ち上げ、活動。



おおとも たつや

大友 達也 氏(宮城県美里町)

宮城県農業実践大学校を卒業後、現在勤務している(有)マルセンファームに就職。
将来は地元で独立自营就農し、大規模な土地利用型農業の展開に意欲。



しだら てつや

設楽 哲也 氏(福島県須賀川市)

旅行会社や小学校勤務後、実家に就農し、米や野菜を栽培。
就農前の勤務経験を生かし、食や農に関する講座やイベントを開催。

2 取組事例発表者との意見交換(16:15~16:45)

3 平成27年度の新規就農支援策の説明(16:45~17:00)

4 就農相談会及び取組事例発表者等との交流会(17:00~17:30)

主催:農林水産省東北農政局

後援(予定):青森労働局 岩手労働局 宮城労働局 秋田労働局 山形労働局
福島労働局 仙台公共職業安定所(ハローワーク仙台)

(お問い合わせ、参加申込先)東北農政局 経営・事業支援部 経営支援課

TEL 022-263-1111(内線4436) FAX 022-722-7378

農林水産省

参加申込書(申込期限:平成27年2月20日まで)

FAX:022-722-7378

TEL:022-263-1111(内線4434, 4436)

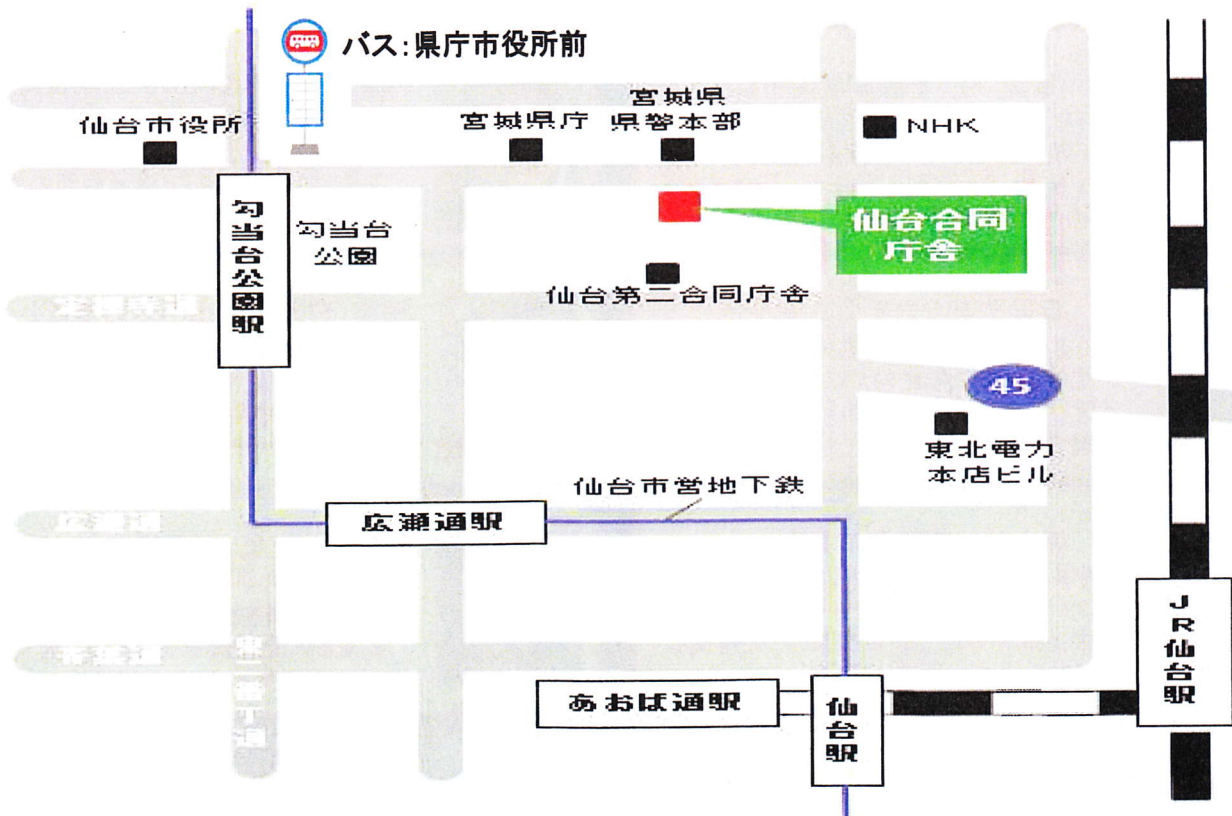
FAXまたは電話にて担当までお申し込み下さい。

〈東北農政局 経営・事業支援部 経営支援課 築山、相馬 行き〉

氏名(ふりがな)	年齢(注)	職業(所属)
住所		電話番号

* 皆様から頂いた個人情報は、本フォーラム運営の目的以外には使用いたしません。
フォーラムの様子は、ホームページ等で紹介させていただきますのであらかじめご了承ください。
(注) 就農希望者や学生の方は、年齢の記入をお願いします。

会場へのアクセス



仙台合同庁舎 8階講堂(仙台市青葉区本町3-3-1)

〈交通手段〉 J R:仙台駅から徒歩約20分
地下鉄:勾当台公園駅から徒歩約5分
バス:県庁市役所前から徒歩約5分

※公共交通機関や近隣の民間駐車場をご利用下さい。
※入館には身分証明書の提示が必要となります。